

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

〈国語〉

思考力、判断力、表現力等について課題が見られた。特に「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること」「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること」の正答率が低い。これらの課題の改善のため以下の対策を行う。

○図表やグラフの理解と活用について

まずは、図表やグラフの解釈や要点を的確に把握できるような課題を与えて、指導する。さらに、図表やグラフで自分の考えを伝える活動も行い、情報を視覚的に表現する力を養う。国語だけではなく、理科や社会等においても図表やグラフの見方を指導する。

○文章読解と考察力の向上

文章を読み解き、その内容に基づいて自分の考えを整理する力を向上させる。そのために、教材文 を読むときには、作者または筆者の考えやその根拠となる事柄等をキーワードとして捉えさせ、論理的に読み取らせる指導を行う。

○意見比較

目的や意図に応じて話題の内容を理解し、他人の意見と比較しながら自分の意見を伝えられる力を向上させる。そのために、自己内、ペア、グループ、全体での対話を段階的に行うことで、自分と異なる意見を分析し、自分の考えを明確に表現できるようにする。また、日記や作文等の指導においては、事実・意見・考えを分けて書くように繰り返し指導する。

○コミュニケーションスキルの向上

表現力を高めるために、ディスカッションやプレゼンテーションの機会を与え、他の児童との議論や発表、自分の意見を正しく伝える力を高める。

○問題解決型学習の導入

自ら課題に気付き、実際の問題解決に取り組む中で、思考力や判断力を発揮することができるような授業改善を行う。

〈算数〉

知識・技能に課題が見られた。特に「乗法の計算」を正しく行うことや「図形の意味や性質」「割合」について正しく理解することが不十分であった。これらの課題の改善のため以下の対策を行う。

○個別最適な学びの充実

「指導の個別化」と「学習の個性化」を図りながら知識・技能の定着を図る。その際、ICTを効果的に使うようにする。また、得た知識・技能を活用し、より確かな力にするために「協働的な学び」と一体的に充実させられるような授業改善を行う。

○問題解決型学習の導入

割合や図形の性質などの概念について、自分たちの生活をつなげて考えられるようする。自ら課題に気付き、実際の問題解決に取り組む中で、知識・技能を身に付け、得た知識・技能を活用してより確実な力にすることができるように「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。

〈全体的に〉

国語と算数に共通して、文章で答える問題に無回答が見られた。文章を書くことに慣れておらず途中であきらめていた。児童質問紙からは、「自分のよいところを認められない」という自己肯定感に課題が見られた。また「教科の学習の大切さや必要性を感じていても好きになれない」傾向が見られた。これらの課題の改善のため以下の対策を行う。

○粘り強く学習に取り組む

あきらめずに粘り強く課題に取り組み、自分の考えをまとめて表現する機会をつくり、相互評価や 自己評価で振り返らせるなどさせる。

○自己肯定感の向上

自己肯定感については、児童が失敗を恐れず挑戦することができるような場や環境を整えたい。そのためには大人がポジティブな言葉を多用し、結果ではなく過程を認めるなど、児童が安心して過ごせる環境を整えたい。また家庭と連携し、生活習慣を整えることも大切なことであると考ええる。

○教科学習への意欲向上

教科の学習については、自分の身近なところから課題を見付け、問題解決に取り組むことができるように授業改善を行い、自分事として学習を進められるようにしたい。また、学習を多様な観点から振り返ったり、ほかの状況でも応用できるように一般化したりすることでよりその学習自体の楽しさを感じられるようにしていきたい。

